

The page is decorated with various colorful illustrations. In the top-left corner, there are orange and red flowers. The top-right corner features a branch with red and yellow flowers, green leaves, and red berries. The bottom-left corner has a blue iris, a yellow flower, and a purple butterfly. The bottom-right corner shows a purple and orange flower. The center of the page is white with green text and a horizontal line.

しまくとうば塾 ちむぐる

【個人様】協賛趣意書



一般社団法人文華樹

代表理事 羽場雅希

知の伝達、知の継承。

——東京の法人が沖縄で活動する意義・理由

私たち一般社団法人文華樹は「『教育』を通じて、人々が文化を継承し、自らの未来を自分の手で切り開ける社会を実現する。」という理念に基づき、主に大学受験生を対象として教育サービスを提供してきました。

私たちの理念のベースには、「自分たちが自然と与えられ、受け継いできた『良き物』を、次なる世代に受け継いでいく」という価値観があり、文化を継承することはその根幹をなすものであると考えています。本プロジェクトはそうした私たちの理念に大きく関わる事業であるという認識のもと起案しました。

本プロジェクトの最初の活動地に沖縄を選んだのは、2023年の夏に沖縄を訪れた際、YouTuberのMG氏から語られた次の言葉に心を動かされたのが一番の理由です。以下原文のまま掲載します。

子どもたちが方言を徐々に徐々に知らなくなっている。今こそ方言塾ってあってもいいと思うし、今しかない。俺たちが「わからん」っていったらおばあちも方言を喋らなくなるから、わからなくてもわかっているふりをしなきゃいけない。でもおばあがいなくなったら、その半分も親父たちしゃべれんから。一大事だよ。自分たち、おかあたちは、おばあの方言を聞けるけど、おばあたちみたいに喋れないわけよ。

方言の中に沖縄の良さが詰まっているんだから、方言でしか伝わらない感覚があるわけよ。標準語にしてしまったら、普通の感情とはちょっと違う。その中にちょっとした優しさがあったり、信仰があったり。それを使うことによって届けられる良さがあるわけよ。方言がなくなるといかにしなきゃいけないかと。俺自身も知りたいし。

方言塾やりたいね。俺たちが勉強になるぐらいな。沖縄方言って言ってしまったら、あっちこっちから違うだろうって言われてしまうから、「しまくとぅば」という、島の言葉ってのを生かせばいいんじゃないかな。検索でもすぐヒットするようにしてからよ。沖縄の人が勉強したくなるような「しまくとぅば」。今しかないよ。おばあちいなくなっちゃったら聞き取りもできなくなってしまう。失われてしまったら終了。残さなきゃいけない。

日本全国で同様の事態が起こっている可能性は極めて高く、私たちの活動拠点である東京都や創立の地である千葉県でも失われゆく言語・文化は確かに存在しています。当然、それらの保全活動を行っていくことの重要性も認識しています。とはいえ、まずは私たちと協働してくださる方々のお力をお借りしながら活動できる沖縄から、その第一歩を踏み出していきたいと考えています。

一般社団法人文華樹
代表理事 羽場雅希



平素は、一般社団法人文華樹の運営に際しまして格別のご配慮を賜りまして誠にありがとうございます。

私たち一般社団法人文華樹は「『教育』を通じて、人々が文化を継承し、自らの未来を自分の手で切り開ける社会を実現する。」という理念に基づき、主に大学受験生を対象とする教育サービスを提供してきました。

この度、新規事業として沖縄県那覇市を拠点とした「沖縄語塾」の開催を企画しております。

つきましては、以下に概要をまとめておりますので、ご高覧いただけますと幸いです。何卒よろしくお願い申し上げます。

目的

沖縄語を中心に、消滅の危機にあるとされる沖縄のことば（＝しまくとぅば）の保存と継承に焦点を当て、人々の関心と理解を深めつつ、地域の言語や伝統文化の喪失を食い止める。

概要

1. 毎月1回の沖縄語講座の実施

- 那覇市内の会場で対面形式の参加型ワークショップを開催。当日はオンライン配信も実施し、オンラインでの受講も可能（質疑応答にも参加可能）
- はじめは簡単な挨拶程度から、最終的には簡単な日常会話が楽しめることを目標にした参加型ワークショップ
- 講座60分程度＋質疑応答15分程度
- 当日の様子は収録し、全10回すべてに参加するわけにはいかない場合でも見逃し配信形式で受講可能（質疑応答部分はカット）
- 質疑応答部分は抜粋してWebメディアにて配信（文字原稿の形で）

2. Webメディアによる情報発信

- 沖縄の言語・歴史・人・文化に焦点を当てたWebメディアを用いた情報発信
- 将来的にはしまくとぅばデータベースの構築を目指す
- コンセプト：「ここに来れば沖縄の言葉・文化・歴史を掘り下げられる」

3. （不定期）沖縄語講座以外のイベント開催

- 毎月1回の沖縄語講座に加え、沖縄の歴史や伝統文化に関連するオフラインイベントを開催

将来的なビジョン

参加者には学んだ沖縄語を普段から活用したり定期的に触れ続けたりしてもらいながら、自分に流れる伝統を感じ取り、沖縄の新たな魅力を発見・伝達してほしい。本プロジェクトをモデルケースとして沖縄県内の他の地域の言葉、さらには全国に存在する消滅の危機にある言語や文化を視野に入れた展開を目指す。



しまくとぅば塾

ちむぐる

「ちむ」「ぐる」とともに「心」の意味。「ちむぐる」は「心、精神」を強めた表現で、主に「真心」を表します。

私たちは、「しまくとぅば塾 ちむぐる」という名に、しまくとぅばを心を込めて伝えていくのみならず、しまくとぅばの中に秘められた「心」を受け継いでいくという決意を込めました。

しまくとぅばでしか伝わらない感覚、標準語にすることで失われる感覚。しまくとぅばの中に表れる優しさや信仰、しまくとぅばを使うことによって届けられる「良さ」を伝承していきます。

「うちなーぐち」と「しまくとぅば」

沖縄のことばを表す際に用いられる語として「うちなーぐち」がありますが、沖縄のことばには島によって、地域によって大きな違いが存在します。そして、言語学的な定義によれば、それらのことばはそれぞれ別の「言語」として識別すべきであるとも言われます。私たちはそれら沖縄のことばを「うちなーぐち」として一括りにして考えるのではなく、故郷（しま）のことばを意味する「しまくとぅば」という語を用いて、島ごと・地域ごとのことばとして認識し、それぞれの言語に焦点を当てて理解・継承していくことを目指します。

概要	詳細
名称	しまくとぅば塾 ちむぐる
期間	2025年6月～2026年3月
活動場所	沖縄県那覇市
運営体制	代表： 羽場雅希（一般社団法人文華樹 代表理事） 現場責任者： 上原ノーマン浩（一般社団法人文華樹 理事） 事務局： 高橋佳佑（一般社団法人文華樹 理事） アドバイザー： MG（沖縄サムライ）
受講生目標人数	延べ800名



本プロジェクトの実施・運営にあたりましては、本来当法人の自己資金および本プロジェクトの参加費を持って負担すべきではございます。しかし、本プロジェクトの趣旨にご賛同いただける皆様からのご支援をいただけますと、より安定した運営を実現させ、より一層活動を広げていくことができると考えております。つきましては、本趣意書をご覧いただきました上で、是非とも本プロジェクトの趣旨にご賛同いただき、何卒温かいご支援並びにご協力を心からお願い申し上げる次第でございます。

末筆ながら貴社の益々のご発展とご繁栄を心より祈念しております。

寄付募集要項

1. 寄付名称

しまくとぅば塾 ちむぐくる

2. 募集期間

2025年1月6日（月）～2025年3月31日（月）

3. 寄付目標額

3,000,000円

4. 寄付対象先

企業・団体・個人

5. 寄付金の使途

しまくとぅば塾 ちむぐくるの運営にかかる費用に充当

6. 寄付金募集責任者

一般社団法人文華樹 代表理事 羽場雅希

7. お申し込み方法

本趣意書にご賛同・ご支援いただけます場合、申込書にご記入いただくか、当法人Webページ内「しまくとぅば塾『ちむぐくる』」ページに掲載の「協賛お申し込み」（右のQRコードからも遷移できます）よりお申し込みください。

8. 寄付金振り込み口座

銀行名：GMOあおぞらネット銀行（0310）

支店名：法人営業部（101）

口座番号：普通 2182652

口座名義：一般社団法人文華樹 ちむぐくる

フリガナ：シヤ) ブンカジュ チムグクル

※恐れ入りますが、振込手数料は貴社にてご負担ください。

※原則として銀行発行の振込み控えをもって領収書に代えさせていただきますが、領収書の発行をご希望の場合はご連絡ください。

※当法人は一般社団法人（普通型）のため、個人の方からの寄付金に対する所得税控除の対象外です。法人様の場合、一般寄付金の損金算入限度額まで損金に算入することが可能です。

9. お問い合わせ先

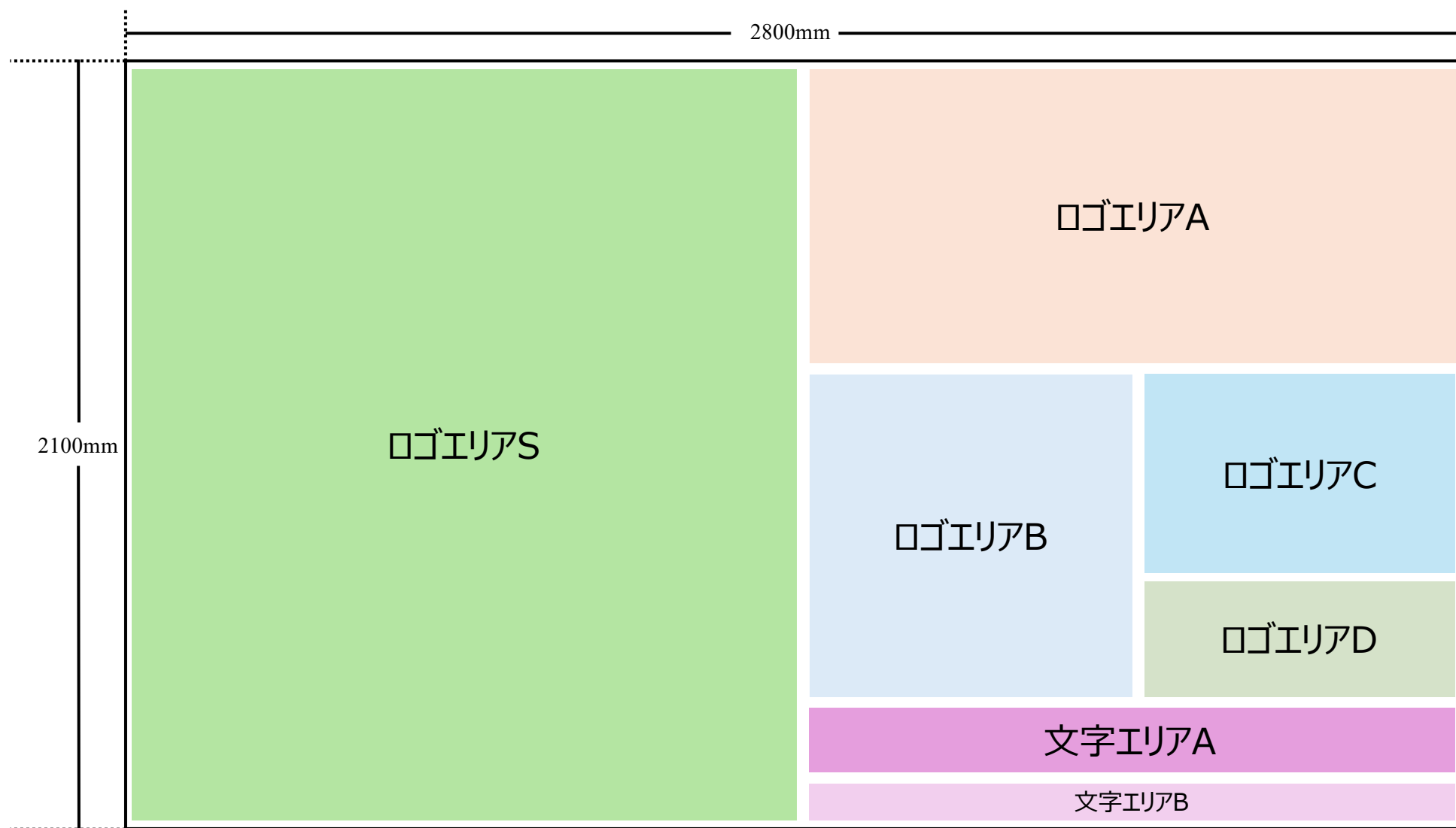
一般社団法人文華樹 事務局



協賛お申し込みページ

	100万円～	50万円	30万円	15万円	10万円	5万円	3万円	15,000円
①各種紹介時に冠協賛として紹介	○	-	-	-	-	-	-	-
②会場内横断幕にロゴ・文字掲載	ロゴエリアS	ロゴエリアA	ロゴエリアB	ロゴエリアC	ロゴエリアD	文字エリアA	文字エリアB	文字エリアB
③会場内に貴社案内設置	○	○	○	○	○	○	-	-
④ちむぐるWebページにロゴ掲載	特大	大	中	小	小	文字	文字	文字
⑤一般社団法人文華樹Webページのトップにロゴ掲載	大	中	小	-	-	-	-	-
⑥一般社団法人文華樹Web内本PJページにロゴ掲載	特大	大	中	小	小	文字	文字	文字
⑦パンフレット・フライヤーにロゴ掲載	特大	大	中	小	小	文字	文字	文字
⑧ちむぐるWebページに貴社ご紹介記事の掲載	○ ご希望の場合	○ ご希望の場合	○ ご希望の場合	-	-	-	-	-
⑨映像のエンドクレジットにてご紹介	貴社単体	貴社単体	貴社単体	複数	複数（中）	複数（小）	複数（小）	複数（小）
⑩各種SNSでのご紹介	○	○	○	○	○	○	○	○ ご希望の場合

- 紹介掲載予定場所（web）：一般社団法人文華樹公式ページ・ちむぐる公式ページ・大学受験生向けWebメディア「Educational Lounge」
- ご紹介記事をご希望の場合、素材のご提供をいただいた後に数回のヒアリングを行い、Web記事として掲載いたします。
- 映像については、講座を収録した見逃し配信・単体視聴用に販売する映像となるため、掲載まで少々お時間いただく形になりますのでご了承ください。



本PJ立ち上げの背景

——私たちの問題意識



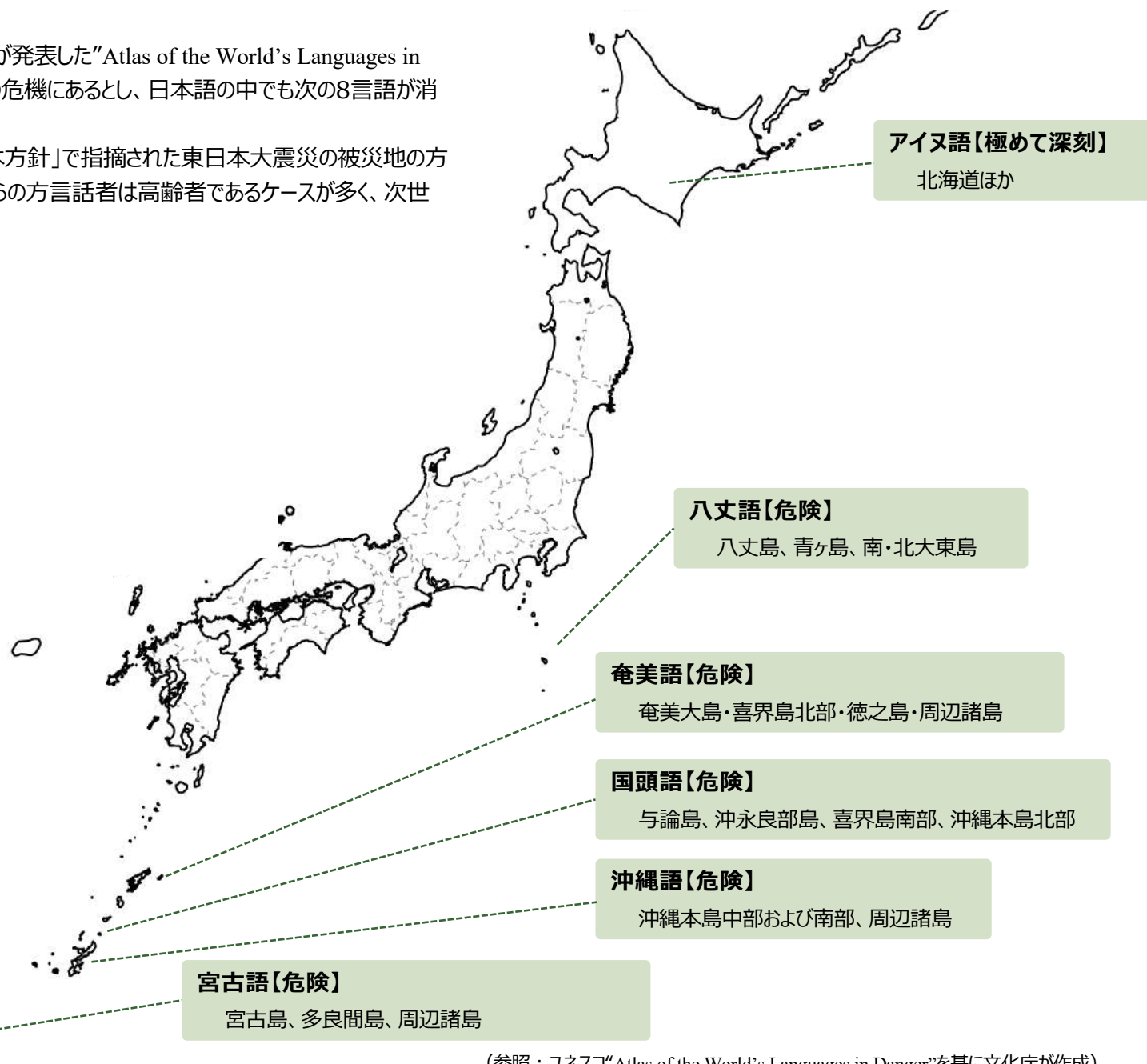
問題意識：日本における危機言語

平成21年2月に国連教育科学文化機関(UNESCO)が発表した“Atlas of the World's Languages in Danger”(第3版)では、世界では約2,500の言語が消滅の危機にあるとし、日本語の中でも次の8言語が消滅の危機がある言語として掲載されています。

また、他にも日本では「東日本大震災からの復興の基本方針」で指摘された東日本大震災の被災地の方言も消滅の危機がある言語として認定されています。これらの方言話者は高齢者であるケースが多く、次世代の担い手の創出が急務となっています。

ユネスコによる危機度表示

- safe【安全】
- unsafe【脆弱】
- definitely endangered【危険】
- severely endangered【重大な危険】
- critically endangered【極めて深刻】
- extinct【絶滅】



(参照：ユネスコ“Atlas of the World's Languages in Danger”を基に文化庁が作成)

Q.なぜ、「方言」の保存が必要なのか。

A.さまざまなことが考えられますが、少なくとも以下の5つが確実に挙げられます。

1 言語は長い年月をかけて、地域の環境や文化・社会の中で作られてきた地域文化の入り口である

- 消滅することによって、昔からの地域文化のあり方に触れる手がかりをなくしてしまうことになる
- 言語はその土地で生きるための知恵・価値観を表す
- 地域の記憶・魅力を再発見する喜びにつながる可能性がある

2 言語には同一地域社会に帰属する仲間であることを示す機能がある

小林（2007）同地域に属するもの同士が直接会話する場合において、方言は「相手の確認機能」「発話態度の表明機能」を果たす。

【事例】東日本大震災の際に、避難所で生活した人たちが出身地域の集会で方言を使うことによって元気を取り戻すことが報告されている。

3 言語はアイデンティティと結びつく

- 集団内で話されている言語を使用することでアイデンティティが形成され、良好な社会の維持に役立つ
- 社会との関わり方に変化をもたらす

4 言語には、コミュニケーションツールとしての役割と知識や思考、感情・感性の基盤としての役割がある

言語の多様性が失われれば、考え方や感情・感性の多様性が失われる可能性がある。

5 失われた言語の復興は困難を極める

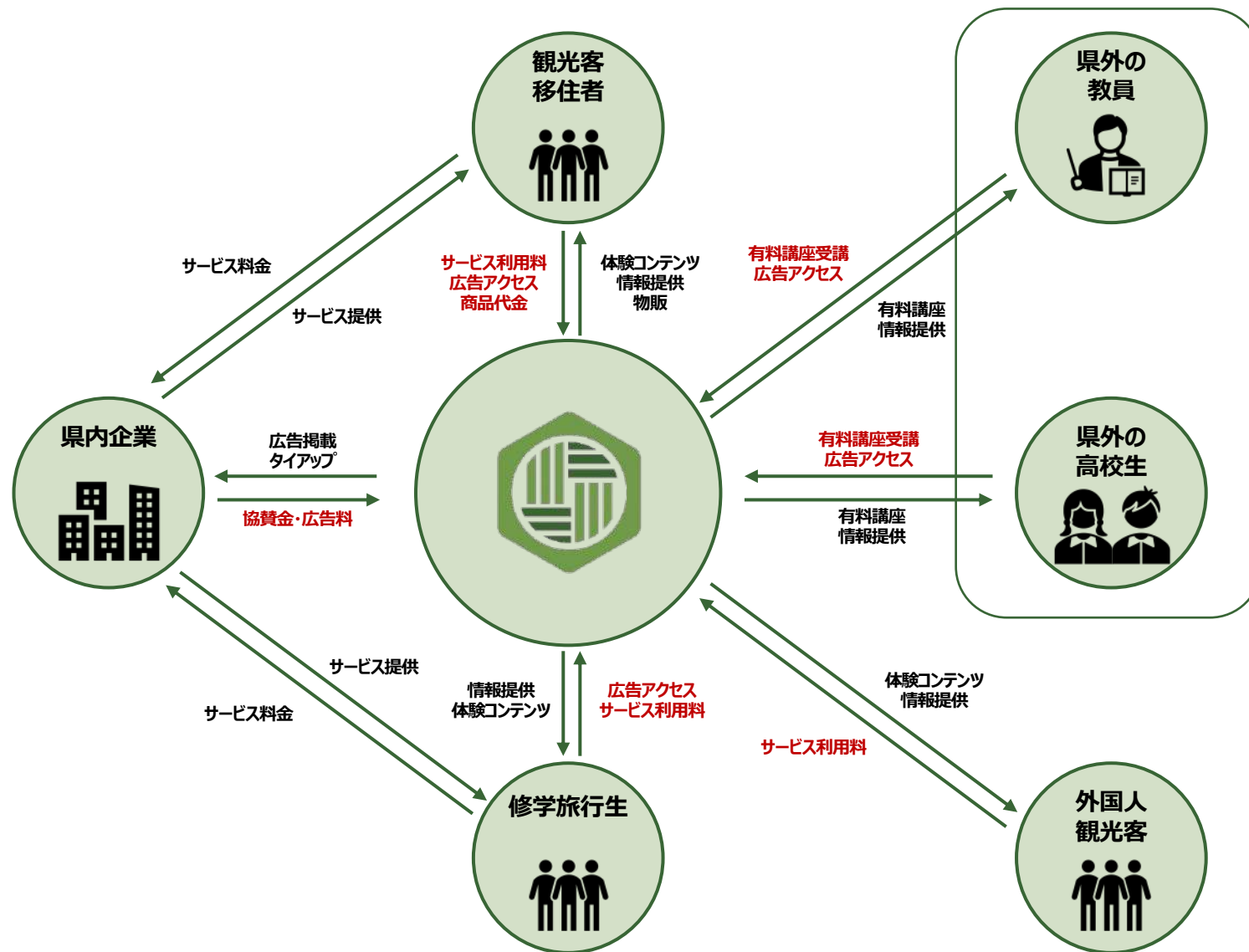
- 言語の多様性が失われれば、考え方や感情・感性の多様性が失われ、価値観・思考の画一化が起こる可能性がある
- 方言話者が減少しつつある現在、「方言」の保存は急務だとかんがえられる

本PJの詳細



「しまくとぅば塾 ちむぐる」のビジネスモデル

基本的な指針としては、県内企業と修学旅行生や観光客をつなぐhubとしての役割を担うことを目指して無料コンテンツを配置しつつ、各セグメントごとにマネタイズポイントを設定し、広告収益とサービス利用料の両面を狙います。

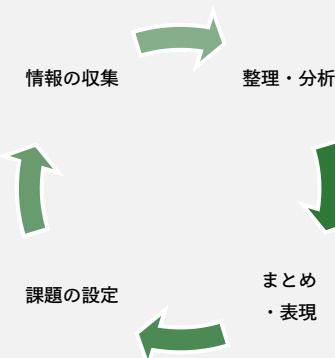


探究学習

探究学習は、2022(中学校は2021)年度より施行された新学習指導要領の目玉となる活動です。生徒自らが課題を設定し、解決に向けて情報を収集・整理・分析し、レポートやポスターなどにまとめて発表する学習活動。

小学校や中学校では総合的な学習の時間、高等学校では総合的な探究の時間などの科目において行われることが多いようです。

探究学習での生徒の活動



探究学習のテーマは、各学校が自由に設定することがため、教員や生徒への情報提供・働きかけによって「方言」や「地域文化」「伝統文化」等をテーマに取り組む機会を創出することが可能です。

「しまくとぅば塾 ちむぐる」第1期実施方法

形式 対面・オンライン配信・録画配信

時期 2025年6月～3月

回数 全10回

会場 那覇市内（ゆいレール圏内）

概要 県内外の中高生・興味のある方を対象とした初級沖縄語講座

- 内容
- はじめは簡単な挨拶程度から、最終的には簡単な日常会話が楽しめることを目標にした参加型ワークショップ形式
 - 毎回1～3個の「黄金言葉」を紹介・解説
 - 参加型ワークショップ60分程度＋質疑応答15分程度

1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目	8回目	9回目	10回目
2025年6月	2025年7月	2025年8月	2025年9月	2025年10月	2025年11月	2025年12月	2025年1月	2025年2月	2025年3月

- 那覇市内の会議室を借りて対面型の講義を開催。当日はオンライン配信も実施し、オンラインでの受講も可能（質疑応答にも参加可能）
- 当日の様子は収録し、全10回すべてに参加するわけにはいかない場合でも見逃し配信形式で受講可能（質疑応答部分はカット）
- 質疑応答部分に関しては抜粋してWebメディア配信（文字原稿の形で）

	1講座	全講座セット	オンライン受講 (1回)	オンライン受講 (全講座セット)	録画販売 (1回)	録画販売 (全講座セット)
一般	受講費用は調整中					
一般（県民割適用）						
学生						

- 無料体験イベント開催＋各回前半25分＋5分休憩＋後半30分とし、後半30分は無料体験枠として開放

標準タイムスケジュール

会場（那覇市内）

無料開放	13:30	開場	
	14:00	開会	
	14:05	基本学習	■ 発音と基本フレーズ しまくとぅば特有の発音や基本フレーズを紹介 ■ 文化的背景の紹介 言葉に込められた意味や歴史を簡単に解説
	14:25	休憩	
	14:35	応用体験	■ ロールプレイ 簡単な会話シナリオを使ってペアやグループで練習
	14:50	まとめとクイズ（黄金言葉）	
	15:00	質疑応答	■ 学んだことの振り返り 学んだフレーズや単語を復習 ■ 黄金言葉の紹介 フレーズと背景の解説・用例をクイズ形式で
	15:15	閉会	
	15:30	閉場	

オンライン（Zoom Webinars）

前日	ルームURL配信
13:30	開場
14:00	開会
14:05	基本学習
14:25	休憩
14:35	応用体験
14:50	まとめとクイズ（黄金言葉）
15:00	質疑応答
15:15	閉会
15:30	配信終了

無料開放



Appendix

——法人概要



PJ統括



一般社団法人文華樹 代表理事 羽場雅希

一般社団法人文華樹 代表理事
塾・予備校講師
私立高校特別非常勤講師。

1991年7月15日生まれ、千葉県出身。
首都圏の塾、予備校を中心に大学受験（現代文・小論文・古典）、映像授業オンライン予備校で国語講師として活動する。2018年11月、予備校講師を中心とした執筆陣による学習情報発信Webメディア「Educational Lounge」を個人で開設し、現在も代表として運営を続ける。
著書に、2023年3月刊行『スマートステップ現代文』（Z会）、2023年6月刊行『スマートステップ小論文』（Z会）。

アドバイザー



YouTubeチャンネル「沖縄サムライ」 MG

沖縄県沖縄市出身のYouTuber。YouTubeチャンネル「沖縄サムライ」でMGとして活動する。
中学生時代に沖縄の伝統文化「エイサー」と出会い、16歳で沖縄市の宮里で青年会に入ってから19歳から24歳まで青年会会長として活動。全島エイサーまつり出場に導く。
その後、さまざまな職を経て現在のYouTube活動に。2022年から子どもたちのための「ティガニーフェス」を主催。2024年には国際通りに「島唄Dining 道ジュネー」を開店。

沖縄PM

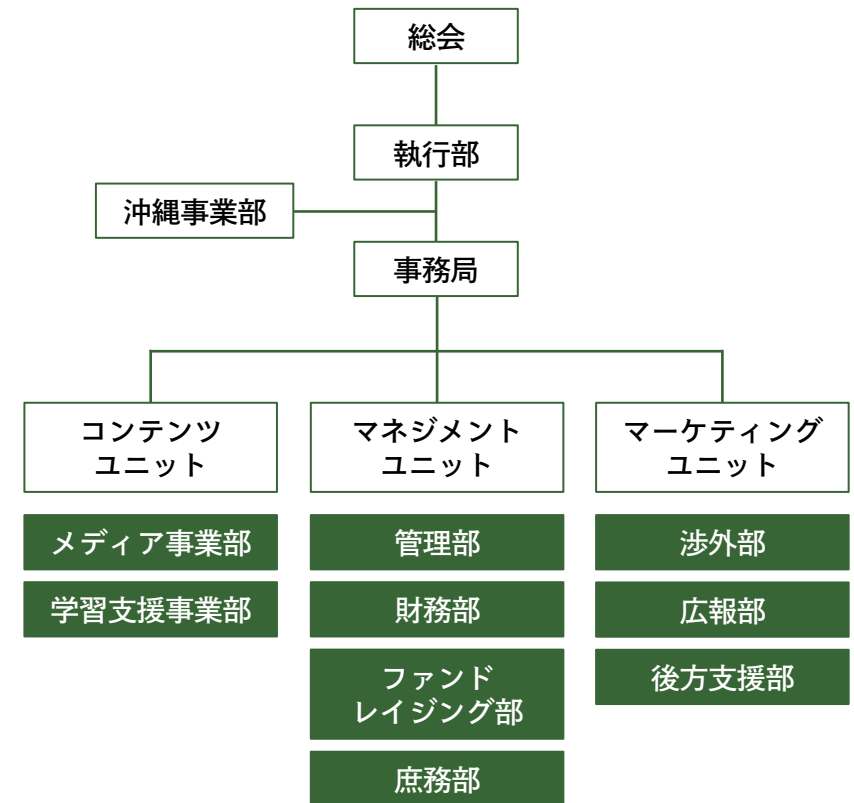


一般社団法人文華樹理事 沖縄事業部 統括 上原ノーマン浩

一般社団法人文華樹 理事・沖縄事業部統括。

1990年9月30日生まれ、沖縄県出身。
興南高校在学中に沖縄県高等学校総合体育大会 駅伝大会6区 区間1位などの結果を収めた後に亜細亜大学法律学部へ進学。卒業時まで所属していた陸上競技部は東京箱根間往復大学駅伝競走（箱根駅伝）に出場。個人としても日本学生陸上競技個人選手権大会1500m全国入賞8位、沖縄県民体育大会1500m 1位などの実績を収める。大学卒業後はカナダでのワーキングホリデーを経て、大手不動産ディベロッパーの戸建て事業部に主任、チームマネージャーを歴任。退職後、数社を経て現在は故郷の沖縄でマリンスポーツのインストラクターやバー、モデル活動を行っている。

法人名	一般社団法人文華樹
代表者	代表理事 羽場雅希
所在地	東京都千代田区神田佐久間町一丁目8番4号 アルテール秋葉原708
設立	2023年3月7日
事業内容	進学指導事業（大学受験指導、高校受験指導） メディア事業（Webメディア運営・支援、書籍執筆） コミュニティ事業（各種勉強会の開催、会員間の情報交換及び相互交流）
役員	代表理事 羽場雅希 理事 上原ノーマン浩 理事 高橋佳佑 理事 白石曉識



Vision 「教育」を通じて、人々が文化を継承し、 自らの未来を自分の手で切り開ける社会を実現する。

私たちは、「教育」を通じて、人々が文化を継承するとともに自らの未来を自分の手で切り開くことのできる社会の実現を目指します。

塾・予備校という「受験が当たり前」の世界に長い間いると、忘れてしまいそうになるものがあります。それは、「受験は選択肢の一つにすぎない」という単純な事実です。私たちの活動を通して、我々の生きるこの世界にはさまざまな選択肢があるということをほんの少しだけでも感じ、それを通して「多様な選択肢の中で、自らの進むべき道を選択する」ということを念頭に、その決断を自分で下した意味を自分で掴んでもらえれば、これ以上ない喜びです。

私たち一般社団法人文華樹はこれからも、より広い意味での「教育」を通して自律性を養い、自らの人生を自らの手で切り開いていくことのできる人材の育成に邁進していきます。

Mission01 知の伝達、知の継承。

私たちは、青少年たちよりも少しばかり先を生きる者として、多くの受験生を見てきた者として、そして何より私たち自身が先人たちに導いてもらってきた者として、手にしてきた良き物を次世代へと継承する役割を担うと同時に、知の継承者として自分たちも常に新たな知を継承していく姿勢を持ち続けていきます。

Mission02 払暁の牽引者となる。

払暁とは夜明けのこと。私たちは、次世代を担う青少年たちが自らの未来を自らの手で切り開いていくための淵源となるべく、ほんの少し先の未来を見据えつつ、これまで見落とされてきた古くて新しい価値の再発見・深化・創造を目指しています。

Mission03 青少年たちの漣標に。

漣標は古来、水深の浅い港や川岸などで船の航路を示す目印となり、また、和歌の中ではよく掛詞として用いられてきました。私たちは、青少年たちの道標となることを目指しつつ、掛詞としての「身を尽くし」に表れた決意と重なりながらも新しい、さらなる意味を込めることができる存在を目指して邁進していきます。

Educational Lounge



2018年11月8日にオープンした大学受験生・指導者のためのWebメディア。「受験生たちの漂標に。」というコンセプトの下、日々さまざまな場所で受験指導に当たっている現役の塾・予備校講師たちが、それぞれの専門科目の学習法や学習に役立つ解説記事を発信する。「不確かな情報」が氾濫する中で、「本当に信頼できる情報が手に入る場所」の確立を目指します。

PICK UP

日々変化し続ける社会に生きる私たちの前には様々な選択肢が用意され、様々な可能性が開かれている。そんな「可能性」に生きる私たちは、無意識のうちに安直な選択をしてしまいがちなもの。受験生を応援するサイトだからこそ、この社会の中で「受験」を選択することの意味を問い直したい――。

そうした思いから、興味深いストーリーを持つ方に対するインタビューを通して多様な生き方を提示する「Educational Lounge×Career Compass」。

2023年度はCareer Compass第6回として、沖縄県北谷町を中心に、子どもの居場所支援の活動をしている任意団体「Cha-Ashibi」のみなさんに普段の活動や沖縄、子ども達に対する思いをお聞きました。

第6回「遊びながら学ぶ、遊びの中に学びがある」

授業・講演・学習支援事業



代表理事が予備校講師として活動してきた中で広がっていった講師のネットワークや知見を最大限活用しながら、各種授業・研修・講演会の企画・講師として講座の提供を行います。

私たち一般社団法人文華樹の会員の多くが塾・予備校で長年教壇に立って受験指導を行ってきました。そのため、進学に向けた学習支援の授業は私たちの最も得意とするところであり、これまで講師として培ってきたデータやノウハウに基づき、中学入試・高校入試・大学入試と、幅広い対象に対応した講義の提供が可能です。高等学校や中学校への出張講義も対応しています。



小論文添削指導 e-Lounge



近年必要性を増している小論文。効果的に学習していくためには信頼のおける指導者（他者）による添削が必要不可欠ですが、現場の先生方はただでさえ忙しく、丁寧に添削指導を行う時間・精神的な余裕がないという声を耳にします。また、「生徒の要望には応えてあげたいけれど、なかなか難しい」という声を聞く機会も増えてきました。

そこで、私たち一般社団法人文華樹ではそのような状況を改善すべく、法人向け小論文添削サービス「e-Lounge」を立ち上げました。現場の先生方の負担を極力軽減し、かつ効果的な小論文添削指導を行うことで受験生の希望する大学へ向けた、あるいは受験校の選択肢を増やすことにつながる小論文対策を実現します。



ご支援のお願い

私たち一般社団法人文華樹の活動は思いを同じくする皆様に支えられています。

私たちの『教育』を通じて、人々が文化を継承し、自らの未来を自分の手で切り開ける社会を実現する。」という思いに賛同してくださる方は、ぜひ応援していただけますようお願いいたします。

寄付によるご支援

継続寄付 フェロー制度

フェローは、月1,500円(1日50円)から継続的に活動をご支援いただく制度です。出生や現状にかかわらず、人々が文化・教養を継承していく機会を創出していく活動とともに支えてくだされば幸いです。

※私たちは継続的にご支援いただいている皆様を「仲間」という意味を含め、フェローと呼んでいます。フェローの皆様には、当法人が主催するイベントや定期的な活動報告、単発ボランティアなど、さまざまな参画機会を設けています（ご参加は任意です）。

単発寄付 任意のタイミングでのご寄付

お好きなタイミングでお好きな額をご寄付いただけます。領収書やご寄付の用途指定のご要望等ございましたら、ご入金後にメールにてsupport@bunkaju.jpまでご連絡ください。

会員募集 会員になる

当法人の目的、事業にご賛同くださり、ともに活動してくださる方を募集しています。各種別の会費は以下の通りとなっています。

- (1)正会員 入会金：5,000 円 年会費：一口 10,000 円
- (2)学生会員 入会金：2,000 円 年会費：なし
- (3)法人賛助会員 入会金：5,000 円 年会費：一口 240,000 円
- (4)個人賛助会員 入会金：2,000 円 年会費：一口 5,000 円

その他のご支援

人材募集 プロボノ・インターン

私たちとともに活動してくださるプロボノ・インターンとして働いてくださる方を募集しています。

募集するポスト・内容・条件は随時更新してまいりますので、当法人の公式Webページをご覧ください。

企業・団体様によるご支援

協働 協業・協働して活動する

私たちと協働して、様々な形で活動を盛り上げて下さる企業様を募集しております。連携内容に関しては、ご相談の中でご対応していきたいと考えておりますので、お気軽にお問い合わせください。

法人寄付 継続寄付 / 単発寄付

当法人の目的及び事業内容に賛同し、運営を継続的に支えてくださる企業様を募集しております。継続寄付は、月 1 万円からお願いしております。継続してご寄付いただける企業様は当法人ホームページへの企業名の記載（希望企業様）や活動報告のご送付、ご要望に応じて様々なプログラムの実施をいたします。

※なお、継続中止はメールにて随時承っております。

会員募集 会員になる

当法人の目的、事業にご賛同くださり、ともに活動してくださる企業・団体様を募集しています。会費は以下の通りとなっています。

法人賛助会員 入会金：5,000 円 年会費：一口 240,000 円



一般社団法人 文華樹

General Incorporated Association Bunkaju

E-MAIL : info@bunkaju.jp

TEL : 050-8880-2387

一般社団法人 文華樹

検索

<https://bunkaju.jp>

